

平成25年度総合評価二極化への取り組みについて

◆適用時期

平成25年4月1日以降に公告する工事より適用

◆問い合わせ窓口

- 中部地方整備局港湾空港部:nyuusatsu@pa.cbr.mlit.go.jp(担当:品質確保室)
- 本資料に対する質問と回答は中部地方整備局港湾空港部入札・契約情報ホームページ(<http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/keiyaku/index.html>)に掲載します。
 - ・個別案件毎の詳細は入札説明書を参照してください。
 - ・公表内容は予告なく変更する場合がありますので、適宜ご確認ください。

平成25年3月18日
中部地方整備局 港湾空港部

公共工事入札契約に係る主な方針

基本理念
総合評価導入
昨今情勢

公共工事入札契約適正化法(2000)
・公共工事に対する国民の信頼の確保と建設業の健全な発達を図る。

公共工事品質確保法(2005)
・公共工事の品質は、使用され初めて確認できる受注者の技術的能力に負うところが大きい
個別の工事により条件が異なる等の特性を有することにかんがみ、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素をも考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされることにより、確保されなければならない。

建設産業の再生と発展のための方策2012
・東日本大震災への対応を次に活かす
・公共工事の入札契約制度の改革等
(地域社会の担い手確保を発注者責務に)
など

港湾工事の特性と必要な配慮事項

海上・水中等の特殊条件下での作業から一般陸上作業まで、幅広い作業条件



様々な工事内容に応じ民間企業の技術力を適切に適用するため、
○より適切な工種・要件設定
○**技術評価における技術力の重視と柔軟性の確保**



担い手確保の観点から、港湾工事の特性に応じた企業やその技術力の確保を図ることができるよう、より適切な評価のあり方を検討、順次導入

二極化の制度設計にあたっては、以上を重視しつつ、可能な限り**競争参加者・発注者の負担を軽減**

○総合評価における技術力重視

- ・港湾工事の特性に鑑み、技術提案を求めるべき案件については引き続き技術提案評価型として実施(標準型／簡易型適用のバランス・対象工事は現行とほぼ同様)。
- ・技術提案の配点比率も、従来の標準Ⅰ型レベルを確保。

○地域社会の担い手確保に資する評価の導入

- ・災害協定、企業BCP、航路啓開等に資する作業船の保有等を地域貢献として適切に評価。
- ・担い手確保に資する地域企業の受注機会の確保を図るため、技術提案評価型において、実績による加点比率を下げたチャレンジ型※を選択肢として追加。(再掲)
- ・技術者評価にあたり、人材育成に配慮(現場代理人経験を監理技術者経験と同程度に評価)。

○評価の柔軟性確保 (成績重視に伴う弊害回避)

- ・施工能力評価型において、Ⅰ型の一部で施工計画評価の点数化を可能とし、実績による評価固定化を回避。(施工計画重視型の設定)
- ・技術提案評価型において、実績による加点比率を下げたチャレンジ型※を選択肢として追加。
- ・工事特性に応じた多様な評価項目の設定(作業船保有、技術提案力の評価等)。

○受発注者双方の労力軽減

- ・技術提案評価型については、一部多数の応募者が予想される案件において、二段階選抜を導入。
- ・従来の簡易型のうち、難易度の低い工事について、施工計画の提出を求めない(施工能力評価Ⅱ型の導入)。

(※)技術提案配点比率を高めることで受注機会の拡大を図ることが望ましいと判断される工事や、担い手確保に資する地域企業の参加が想定される工事に対して「チャレンジ型」を設定。

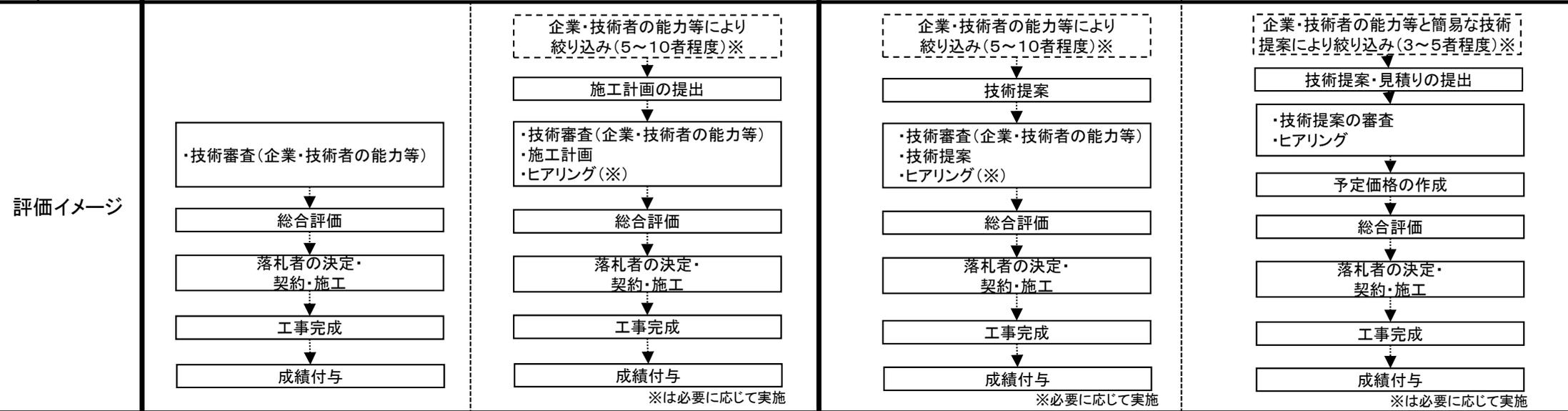
総合評価落札方式の見直し

現行 簡易型 標準型 高度技術提案型



二極化 施工能力評価型 技術提案評価型

分類の考え方	II型		I型		S型		AIII型		AI型、AII型	
	工事内容	・企業が、発注者の示す仕様に基づき、適切で確実な施工を行う能力を有しているかを、企業・技術者の能力等で確認する工事		・企業が、発注者の示す仕様に基づき、適切で確実な施工を行う能力を有しているかを、施工計画を求めて確認する工事		・施工上の特定の課題等に関して、施工上の工夫等に係る提案を求めて総合的なコストの縮減や品質の向上等を図る場合		・高度な施工技術等により社会的便益の相当程度の向上を期待する場合		AI: 通常の構造・工法では制約条件を満足できない場合 AII: 有力な構造・工法が複数ある場合
提案内容	・求めない		・施工計画		・施工上の工夫等に係る提案		・部分的な設計変更や高度な施工技術等に係る提案		・施工方法に加え、工事目的物そのものに係る提案	
評価方法	・企業・技術者の能力等のみで評価		・原則可・不可の二段階で評価(必要に応じ点数化も可)		・点数化して評価		・点数化して評価			
ヒアリング	・実施しない		・必要に応じ(施工計画の代替も可)		・必要に応じ		・必須			
段階選抜	・実施しない		・必要に応じ		・必要に応じ		・必要に応じ			
予定価格	・標準案に基づき予定価格を作成				・標準案に基づき予定価格を作成		・技術提案に基づき予定価格を作成			



評価方法	【除算方式】総合評価値 = $\frac{100 + \text{「企業・技術者の能力等」}}{\text{入札金額}}$	【除算方式】総合評価値 = $\frac{100 + \text{「企業・技術者の能力等」} + \text{「技術提案」}}{\text{入札金額}}$	【除算方式】総合評価値 = $\frac{100 + \text{技術評価点(「技術提案」の得点)}}{\text{入札金額}}$
------	---	---	---

施工能力評価型

- ・施工能力評価型(Ⅰ型)において、特に施工計画の適切性を求める必要がある場合は、施工計画の評価を点数化する「施工計画重視型」を設定。

<配点割合>

施工能力評価型(Ⅱ型)

総合評価対象 40(30)		
企業の 能力等 16(12)	技術者の 能力等 16(12)	地域精 通度等 8(6)

- ※ 施工計画の提出は求めない。
- ※ 施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。

施工能力評価型(Ⅰ型)

総合評価対象 40(30)			
段階選抜対象 40(30)			
施工計画※	企業の 能力等 16(12)	技術者の 能力等 16(12)	地域精 通度等 8(6)

- ※ 施工計画は、可か不可のみを評価する。
- ※ 施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。

施工能力評価型(Ⅰ型・施工計画重視型)

総合評価対象 40(30)			
段階選抜対象 20(15)			
施工計画 20(15)	企業の 能力等 8(6)	技術者の 能力等 8(6)	地域精 通度等 4(3)

- ※ 施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。

技術評価点の配点割合

技術提案評価型

- ・技術提案評価型(S型、非WTO)において、技術提案配点比率を高めることで受注機会の拡大を図ることが望ましいと判断される工事や、担い手確保に資する地域企業の参加が想定される工事に対して「**チャレンジ型**」を設定。
- ・「チャレンジ型」においては、対象工事の発注等級別に、『①Aランク(中小以外)』、『②Aランク(中小)、B、C』の2タイプを設定。

<配点割合>

技術提案評価型(S型・非WTO)

総合評価対象50~60(40~50)			
	段階選抜対象 20(20)		
技術提案 30~40(20~30)	企業の 能力等 8(8)	技術者の 能力等 8(8)	地域精 通度等 4(4)

※施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。
 ※WTO対象の場合、企業の能力等及び技術者の能力等は段階選抜での評価のみに利用し、総合評価では評価しない。

技術提案評価型(S型・非WTO・チャレンジ型)

総合評価対象40~50(30~40)		
	段階選抜対象10(10)	
技術提案 30~40(20~30)	企業の 能力等 5(5)	技術者の 能力等 5(5)

※施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。
 ※「地域精通度・貢献度等」は設定しない。

技術提案評価型(S型・WTO)

総合評価対象60(60)
技術提案 60(60)

技術提案評価型(A型)

総合評価対象70(50)	段階選抜対象 40/60		
技術提案 70(50)	簡易な 技術提案※ 20	企業の 能力等 20	技術者の 能力等 20

※簡易な技術提案は段階選抜で必要に応じて評価
 ※施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。

評価項目・評価基準・配点

施工能力評価型

施工能力評価型(Ⅱ型)	施工能力評価型 (Ⅰ型・施工計画重視型)
施工能力評価型(Ⅰ型)	

評価項目		評価基準	配点		配点		
★企業の技術力	施工計画	施工能力評価型(Ⅱ型)	提出を求めない		10点×2項目		
		施工能力評価型(Ⅰ型)	可否判定のみ				
①企業の能力等	過去15年間同種工事	より同種性の高い工事の実績あり	5	5	16	2.5	2.5
		同種性が認められる工事の実績あり	0			0	
	過去4年間当該工種工事成績平均点	80点以上	7	7		3.5	3.5
		75～80点未満	4			2	
		70～75点未満	2			1	
	過去3年間当該工種表彰	70点未満	0	4 (Max)		0	2 (Max)
		局長表彰	3			1.5	
		所長表彰	1			0.5	
		安全表彰	1			0.5	
	表彰なし	0	0				
②技術者の能力等	過去15年間同種工事	より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者あるいは現場代理人として従事	6	6	16	3	3
		より同種性の高い工事において、担当技術者として従事、または、同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者あるいは現場代理人として従事	3			1.5	
		同種性が認められる工事において、担当技術者として従事	0			0	
	過去10年間同種工事成績点	80点以上	6	6		3	3
		75点以上80点未満	4			2	
		70点以上75点未満	2			1	
		70点未満	0			0	
	過去3年間当該工種技術者表彰	表彰あり	2	2		1	1
		表彰なし	0			0	
	その他 CPD	ユニット数以上	2	2		1	1
ユニット数未満		0	0				
③地域精進度等	過去5年間災害協定	表彰あり	4	4	2	2	
		協定あり	2		1		
		表彰・協定なし	0		0		
	過去5年間ボランティア	表彰又は実績あり	2	2	1	1	
		表彰・実績なし	0		0		
	過去15年間管内実績	当該区域実績あり	2	2	1	1	
		管内実績あり	1		0.5		
実績なし		0	0				

施工能力評価型

<企業の能力等>

- 「同種工事」の評価において、「より同種性の高い工事」とは、当該工事の特記仕様書数量以上の実績工事とし、具体的な評価対象工種は各工事毎に設定のうえ入札説明書(別紙 評価基準表)に記載する。

<技術者の能力等>

- 「同種工事」の評価においては、同種性と立場(役職)に基づき3段階評価とする。

評価項目・評価基準・配点

技術提案評価型

評価項目		評価基準	技術提案評価型 (S型・非WTO)		技術提案評価型 (S型・非WTO・チャレンジ型)									
			配点		①		②							
★企業の技術力	技術提案	1テーマ	30		30		30							
		2テーマ	40		40		40							
①企業の能力等	過去15年間同種工事	より同種性の高い工事の実績あり	3	3	8	3	3	5	3	3	5			
		同種性が認められる工事の実績あり	0			0			0					
	過去4年間当該工種成績点	80点以上	3	3										
		75～80点未満	2											
		70～75点未満	1											
		70点未満	0											
	過去3年間当該工種表彰	局長表彰	1.5	2 (Max)										
		所長表彰	0.5											
		安全表彰	0.5											
		表彰なし	0											
過去5年間関連分野の技術開発	NETIS-Vまたは港湾関連民間技術の自社開発あり			2	2									
	NETIS-Aまたは特許権の自社開発あり			1										
該当なし				0										
作業船の保有状況	災害時に活用可能な自社保有船あり							1	1					
	自社保有船なし							0						
過去5年間災害協定	表彰あり	3項目の中から2項目を指定						1	1					
	協定あり						0.5							
	表彰・協定なし						0							
過去5年間ボランティア	表彰又は実績あり							1	1					
	表彰・実績なし							0						
②技術者の能力等	過去15年間同種工事	より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者あるいは現場代理人として従事	3	3	8	4	4	5	4	4	5			
		より同種性の高い工事において、担当技術者として従事、または、同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者あるいは現場代理人として従事	1			2			2					
		同種性が認められる工事において、担当技術者として従事	0			0			0					
	過去10年間同種工事成績点	80点以上	3	3										
		75点以上80点未満	2											
		70点以上75点未満	1											
		70点未満	0											
過去3年間当該工種技術者表彰	表彰あり	1	1											
	表彰なし	0												
その他 CPD	ユニット数以上	1	1	1	1			1	1					
	ユニット数未満	0		0		0								
③地域精進度等	過去5年間災害協定	表彰あり	2	2										
		協定あり	1											
		表彰・協定なし	0											
	過去5年間ボランティア	表彰又は実績あり	1	1										
		表彰・実績なし	0											
	過去15年間管内実績	当該区域実績あり	1	1										
管内実績あり		0.5												
	実績なし	0												

50[60]

40[50]

40[50]

技術提案評価型

<企業の能力等>

- 「同種工事」の評価において、「より同種性の高い工事」とは、当該工事の特記仕様書数量以上の実績工事とし、具体的な評価対象工種は各工事毎に設定のうえ入札説明書(別紙 評価基準表)に記載する。
- 「チャレンジ型①」においては、「関連分野の技術開発への取り組み状況(実績)」を評価対象とする。
- 「チャレンジ型②」においては、「作業船の保有状況」、「災害協定」、「ボランティア」の3項目の中から当局が2項目を指定する。

<技術者の能力等>

- 「同種工事」の評価においては、同種性と立場(役職)に基づき3段階評価とする。

技術提案評価型(S型・WTO) [段階選抜]

評価項目		評価基準		配点		
①企業の能力等	過去15年間 同種工事	より同種性の高い工事の実績あり	9	9	15	
		同種性が認められる工事の実績あり	0			
	上記同種工事の成績	78点以上	6	6		
		74点以上78点未満	3			
74点未満		0				
②技術者の能力等	過去15年間 同種工事	同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者あるいは現場代理人として従事	9	9	
			より同種性の高い工事において、担当技術者として従事、または、同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者あるいは現場代理人として従事	3		
			同種性が認められる工事において、担当技術者として従事	0		
	上記同種工事の成績	78点以上	6	6		
		74点以上78点未満	3			
		74点未満	0			

技術提案評価型(S型・WTO)
段階選抜

30

<企業の能力等>

<技術者の能力等>

- WTO案件において、必要に応じて「段階選抜」を適用する。
- 「成績」については、記載のあった同種工事の内、直轄工事(港湾空港関係)の成績を評価対象とする。

施工能力評価型（I型・施工計画重視型）

基本事項

- ・施工上、特に配慮すべき事項（2項目）について記載を求める。
（工程、品質、出来形、安全、環境の中から工事毎に当局が2項目を指定する。）
- ・A4、1ページに2項目を記載。（様式は別添資料参照）

評価基準	配点
工事内容及び現場条件を踏まえた具体的な記載がある	20点 (10点× 2項目)
工事内容及び現場条件を踏まえた記載があるが、記載内容の一部に具体性が欠ける	
工事内容及び現場条件を踏まえた記載がない	
施工計画が不適切である	

評価基準・配点【技術提案の評価】

技術提案評価型

基本事項

- ・施工上の工夫等について、技術提案を求める指定テーマを1～2テーマ設定。
- ・各テーマ毎における、提案数は設定しない。
- ・1テーマにつき、技術提案書(概要)と(詳細)を、それぞれA4、1ページ以内に記載。
(技術提案書(詳細)の補足資料として、A4、2ページまでの追加は可) (様式は別添資料参照)

評価基準		配点	
		1テーマの場合	2テーマの場合
効果の程度	高い効果が期待できる	30点	40点 (20点×2テーマ)
	効果があると判断できる		
	効果が局所的または限定的		
信頼性等	信頼性(効果の裏付け)		
	新技術活用(NETIS等)		
	テーマ以外の有効な工夫		

※WTO対象の場合は、2テーマ設定のうえ、30点/テーマ×2テーマ=60点とする。

記載方法の見直し【技術提案評価型】

(入札説明書における評価テーマの設定理由の記載例)

評価項目	指定テーマ	設定理由	当局の標準案	加算点
性能・機能	〇〇〇の品質確保	〇〇〇の品質向上に関する提案	本工事は〇〇であることから、〇〇に関する技術提案を求める。	特記仕様書、港湾請負工事積算基準（平成〇年〇月）を標準とする。 〇〇点



評価項目	指定テーマ	設定理由	当局の標準案	加算点
性能・機能	〇〇〇の品質確保	〇〇〇の品質向上に関する提案 ※なお、特に重要な事項は〇〇、重要な事項は〇〇と想定しているが、これら以外でも指定テーマに関して効果の見込める提案があれば記載のこと。	本工事は〇〇であることから、〇〇に関する技術提案を求める。	特記仕様書、港湾請負工事積算基準（平成〇年〇月）を標準とする。 〇〇点